

将来の神戸に石炭火力発電所は必要??

神戸製鋼が建設予定の 石炭火力発電所を考える 市民学習会

日程: **2017年 9月29日 (金) 18:30 - 20:30**

会場: **神戸学生青年センターホール (神戸市灘区山田町3丁目1-1)**

神戸製鋼が神戸市灘区で運転中の2基の大型石炭火力発電所(140万kW)に加えて、**関西電力への売電を目的**に2021年に、新たに2基の巨大な石炭火力発電所(130万kW)の建設が計画され**4基(計270万kW)**になろうとしています。

この計画による神戸の将来の環境影響について市民が考え、何ができるかを考える学習会を開催します。ぜひご参加下さい。

プログラム (予定)

- 1. パリ協定と石炭火力発電所 -世界の動向と日本の現状-**
山本 元 氏 (NPO法人 気候ネットワーク)
- 2. 市民が読み解く**
神戸製鋼所が計画する大規模石炭火力発電所について
久保 はるか 氏 (甲南大学法学部 教授)
- 3. 質疑応答 / 意見交換**

参加費 : **無料**

申込み : TEL、FAX、メール、WEBのいずれかでお申込み下さい。

<https://goo.gl/forms/32RPLKyvga7wotUI2>

(事前申し込みがなくても、当日参加も可能です)



申込みフォーム
QRコード

詳細: 神戸の石炭火力発電を考える会 <https://kobesekitan.jimdo.com/>

(問い合わせ先) NPO法人気候ネットワーク

TEL : 075-254-1011 FAX : 075-254-1012 MAIL : kyoto@kiconet.org

主催: 神戸の石炭火力発電を考える会 / (公財) 神戸学生青年センター

発電所設置計画の概要と問題点



本計画は、かつて深刻な大気汚染にあった住宅地域至近で行われるもので、**神戸・芦屋地域に多大な環境影響をもたらす**、これまでの県民の環境回復努力を無にするものです。

(左図、3km圏内)

二酸化炭素を長期かつ大量に排出する本計画は、国、県、市などの排出削減計画と整合性を欠いています。

2021年から約30年稼働するならば、大量のCO₂を排出します。

今、建設をやめることが必要です。

1,大気汚染に対する評価が不十分

大気汚染に対する**評価が恣意的**で、最善の汚染防止技術が導入されていないなど、対策が不十分です。PM2.5について評価が行われず、環境保全措置も講じられていません。

3,天然ガスの2倍のCO₂排出量

石炭火力発電所は、例えば**最新型**であったとしても大量のCO₂を排出することから、温暖化対策を進めるうえで**大きな支障**をきたします。

兵庫県知事も説明を強く求めています、事業者は誠意ある回答を行っていません。

2,“汚い”石炭を大量に消費します

石炭火力は、他の火力発電所と比べて汚染物質を大量に排出します。石炭を燃焼させることで排出される汚染物質の量を明らかにせず、環境への**影響が低減**するかなのような評価結果を記載し、**市民を誤信**させています。

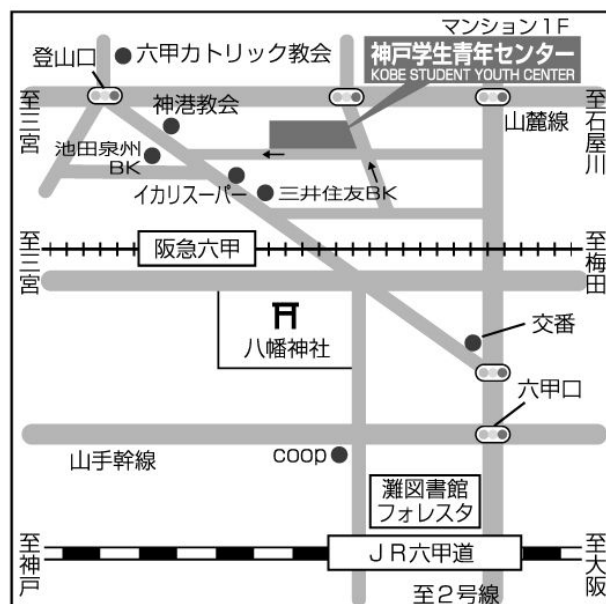
4,水銀など、重金属が排出されます

石炭には、**水銀などの重金属**が含まれています。しかし、その総排出量は示されていません。予測結果を**過小に評価**し、十分な環境保全措置が講じられているかどうか検証することができません。

送信先：気候ネットワーク京都事務所（FAX：075-254-1012）

2017/9/29「石炭火力を考える学習会・神戸」申込用紙

会場案内図



ふりがな 氏名	
E-mail	@
所属 (任意)	
ご質問等	

* ご記入いただいた個人情報、主催団体による受付・参加者人数の把握、今後関連するイベント等のお知らせにのみ使用いたします。